

山上の説教から学ぶ(34)

「危険な自己防衛」

メッセージ・ノート 2021.10.10

復習：内面的な取り組み～慈善（施し）、祈り、断食、思い煩い

思い煩いの自然な結果：比較、裁き

マタイ 7:1-6 (新共同訳) ¹「人を裁くな。あなたがたも裁かれないようにするためである。²あなたがたは、自分の裁く裁きで裁かれ、自分の量る秤で量り与えられる。³あなたは、兄弟の目にあるおが屑は見えるのに、なぜ自分の目の中の丸太に気づかないのか。⁴兄弟に向かって、『あなたの目からおが屑を取らせてください』と、どうして言えようか。自分の目に丸太があるではないか。⁵偽善者よ、まず自分の目から丸太を取り除け。そうすれば、はっきり見えるようになって、兄弟の目からおが屑を取り除くことができる。⁶神聖なものを犬に与えてはならず、また、真珠を豚に投げてはならない。それを足で踏みにじり、向き直ってあなたがたにかみついてくるだろう。」

傾向：自分と相手の間に線を引いて、自分は正しい側で、相手は間違った側にいる

クリスチャンなら、あたかもイエス様が自分側にいるかのように、相手を判断している

裁く（クリーン）：選ぶ；好む；区別する；賛成する・尊重する；決める・決定する；正しいかどうかの意見を下すこと、裁判官のように決定を宣言する

マタイ 7:1 (JLB) 人のあら探しをしてはいけません。自分もそうされないためです。

あら探し：物事の短所、欠点、不首尾など、悪い点をあげつらおうとして執拗に詮索すること。

量る秤：恵みと真実～恵みで量られたいが、相手を真実で量る。イエス様は私をどのように取り扱っているのか？自分の中にある嫌なところや恥ずかしいところを相手に見出して、それらを批判する傾向がある。

イエスのおが屑と丸太の例え：

- ・ どちらも木が原料（関係のあるもの）：イエスは大工だった
- ・ ユーモアを使っているところが大切！
- ・ 丸太が目にあると視覚が歪められる...本当は自分の中にあるものを相手の中に見えてしまう

- 自分の問題を先ず認める (丸太): 自分の問題を認めるとき、イエス様はどのように扱ってくださるのか? 恵みですか? それとも真実ですか? そして、私たちの丸太にどう対処してくださるだろうか? 赦しと愛ででしょう。その前提があるから、私たちは真実 (丸太) を認められる。
- 丸太を処理した後はへりくだって、おもいやりをもって、相手のおが屑の処理するのを助けることができるようになります。しかも、自分の丸太の経験を生かして、相手のおが屑とつながる橋を架けることができるのです。

マタイ 18:15-17 (新共同訳) ¹⁵「兄弟があなたに対して罪を犯したなら、行って二人だけのところで忠告しなさい。言うことを聞き入れたら、兄弟を得たことになる。¹⁶ 聞き入れなければ、ほかに一人か二人、一緒に連れて行きなさい。すべてのことが、二人または三人の証人の口によって確定されるようになるためである。¹⁷ それでも聞き入れなければ、教会に申し出なさい。教会の言うことも聞き入れないなら、その人を異邦人が徴税人と同様に見なしなさい。」

イエスの犬と豚の例え (二つの解釈):

- ・ まだ相手は犬や豚にしか見えないのか? よりへりくだる必要がある
- ・ 犬や豚のように振る舞っている感じなのか? まだ指摘をする時ではない

まとめ:

1. あなたの目に入っている丸太は何でしょうか? ヒント: 他の人を見て、イライラする気かけとなることと関係しているでしょう。
2. どのようにして丸太の処理経験を生かすことができるのでしょうか?